

合言葉は「えがおいっぱい ☺ 元気いっぱい」

御嵩小校報

令和2年度 第12号 2月9日

学校の教育目標

のびよう

きたえよう

せいりっぱい

・みんなで学ぶ子

・たすけあう子

・けんこうな子



☆御嵩小の情報はHPでどうぞ



令和2年度学校評価の結果及び保護者意見への回答①

2学期末に、保護者・児童を対象に学校評価アンケートを実施しました。今回の学校だより、そしてホームページで、結果を公開させていただきます。また、PTA役員会、学校運営協議会でもアンケート結果を話題にして学校改善に活かしていきます。ご協力、ありがとうございました。

1、達成度 ◎:90以上 ○:80以上 一:70~80 ▲:70未満

2、保護者からのご意見 ○:成果 ▲:課題 ◇:提言その他

3、→ 学校より回答

項目		評価指標		達成度	
1	充実感	保護者	お子さんは、楽しく学校へ通っている。	90	◎
		児童	学校に楽しく通っています。	90	◎
2	生活規律	保護者	お子さんは、規則正しいリズムで生活している。	82	○
		児童	早寝・早起きを心がけ、朝ごはんを食べています。	87	○
3	安全な生活	保護者	お子さんは、安全に気を付けて生活している。	88	○
		児童	安全に気を付けて、生活をしています。	95	◎

保護者より
 ○個人懇談や授業参観を行っていただき、ありがとうございました。担任の先生が細かいところまで見てくださっていることが分かり、安心しました。今後もよろしく願います。
 ○いつも、子どもにとっていい方法を考えていただき感謝しています。
 ○いつも配慮いただきありがとうございます。子ども毎日楽しく学校へ行っていてありがたいです。
 ○コロナの恐怖もある中、先生が温かく迎えてくださり、子どもたちはのびのびと元気に学校へ行けています。本当にありがとうございます。感謝です。

(一日の日課についていくつかご意見をいただいたので、ここに載せます。)
 ○今年度より、朝の分団の集合・出発時間が少し遅めになった事は、今までうちの方は朝時間が早めで大変そうだったので、このまま継続してもらえたらと思います。あと、最終下校の時間が早くなったことも、帰りの道が遠いのでありがたいです。
 ○朝の分団の集合・出発時間が少し遅めになった事と、最終下校時刻が早めになった事は、家が遠い地区の子どもにとっては本当にありがたいので、このまま継続でお願いしたいです。
 ◇5分休みでは短すぎるし、帰宅時間が早くなりすぎて、子どもを一人で待たせる時間が長くなり困っています。
 ◇授業後の休憩時間が5分なのは本当に短いと感じました。どうして短くなったかの説明が不十分だと感じました。家に帰宅してふれ合う時間よりも、学校という場でもっと友達との関係性作りを大切にしたいと思いました。社会へ飛び立つ前の大切な学びの場なのに、どうして5分休憩にしてしまったのでしょうか。
 →授業間の休み時間は5分間・10分間のどちらが良いかについて、児童にアンケートをとりました。
 ☆結果:5分間が良いと答えた児童・・・89.4% 10分間が良いと答えた児童・・・10.6%



<5分間が良いという意見>
 ・下校を早くすることができる。(→ 最多意見) ・時間を意識して行動するようになる。
 ・次の準備を早めにおこうという意識になる。 ・チャイムスタートを意識して動くようになる。
 ・てきぱきと動く人が増える。 ・必要なのは話せるので5分間で良い。
 ・5分間だと落ち着くのが早い。10分間だと長すぎて、余計なことまでしてしまう。

<10分間が良いという意見>
 ・用事ができたとき、動ける時間が少ない。
 ・教室を移動するときに、あまり時間がない。
 ・お茶を飲んだりトイレに行ったりする時間が少ない。
 ・係の仕事があるときに少し遅くなってしまふ。

保護者より
 下校時刻を早くすることで、安全上の利点が増えました。業間は、休憩というよりは次時の準備であり、5分間にしたことで、テキパキ行動できたり、トラブルが減ったりするというよさが見られました。子どもたちもそれを認めているのでこのまま継続していきます。トイレに行く時間や移動教室の時間が少ないという児童の声もありますので、この点には十分配慮していきます。

(登下校についてもいくつかご意見をいただいたので、ここに載せます。)
 ◇登校時の問題を早期に解決していただき、とても感謝しております。出発時刻を決めても、子どもたちが時計を持っていないので、いつ出発したらいいかの判断が難しいと思います。時計のない場所が集合場所になっているのでしたら、時計を持たせて(分団旗につける等)もらえるといいと思いました。
 →PTA役員会で議題に上げて話し合い、地区委員様のご意見も取り入れて考えました。子どもたちが登校の時間を自覚して出発することをめざし、次年度は分団長に時計を持たせることを決めましたので、今年度中に時計を購入する計画です。
 ◇何度か登校や下校について学校に言ったり、同じ分団の保護者が地区担当の先生に伝えたりしても、改善されているのかと思うことが多々ありました。分団の中に、マスクをつけず、他の分団に交ざってしまっ班長の仕事をしていない子がいます。厳しい判断をお願いしたいです。
 ◇交通安全指導に力を入れてください。歩道の縁石の上を歩く男の子をよく見かけます。バランスを崩して車道に降りたら、即交通事故だという認識をもたせてください。
 →今年度、コロナ対応のため毎朝健康チェックをしていて、学校職員は児童の登校する時間に登校指導をすることができませんでした。通学の分団は安全上の配慮から組織されてきたものであり、児童の登下校の安全は、地区委員さんを中心とした地域と協力をしてサポートしていきたいと思えます。もちろん学校でも、分団のルール、登下校の注意点やマナー等については、分団長会や分団会、各学級で指導するとともに、地区委員さんとも連携して各地域で確認してもらっています。これからも各地域での見守りをよろしく願います。
 ◇1年生の帰りの遅い日が多々あります。聴くと、寄り道をしたりすることが多いようです。冬なので他の子を送ったりしないで、まっすぐ家に帰るよう、今一度指導をお願いします。
 →全体指導を繰り返しています。心配されるお気持ちはとても分かりますので、今後も指導を続けます。各家庭でもお子さんへの声かけをお願いします。
 ○熱中症対策や雨の日、外で遊べない時に教室で工作ができたようでした。友達と製作したりして、外で遊べないストレスを発散できたようです。ありがとうございました。
 ◇コロナで自宅待機の時、先生が車で見回りをしてくださっていて、とてもありがたかったのですが、たまたま、父親が休みで家にいて、ゆっくり子どもを見て通り過ぎる様子から、先生の車を不審か?と勘違いしたことがありました。先生だと分かるまで、親子で不安でした。どんな形でもいいので、「御嵩小職員パトロール」中であることが分かるようにしていただけたらありがたいです。いつもありがとうございます。
 →教員がパトロールするときは、パトロール中のステッカーやピンクの上着を着て分かるようにします。

4	言葉づかい・挨拶	保護者	お子さんは、よい言葉遣いや気持ちのよい挨拶が身に付いている。	60	▲
		児童	ほかほか言葉、気持ちのよいあいさつを心がけています。	87	○
5	体力 向上	保護者	お子さんは、健康増進、体力向上のため、運動に親しんでいる。	66	▲
		児童	休み時間は元気に外であそんだり、運動したりしています。	74	-
6	向上心	保護者	お子さんは、目標をもち、その達成に向けてねばり強く努力している。	57	▲
		児童	学習や運動は、めあてをもってがんばるようにしています。	85	○
7	自己有用感	保護者	お子さんは、困っている人を助けたり、人の役に立ったりしたいと考えている。	79	-
		児童	困っている人を助けたり、人の役に立てるようにしたりしています。	84	○
8	学習習慣	保護者	お子さんは、家庭で学習する習慣が身に付いている。	65	▲
		児童	家庭では、宿題など学習をしっかりやっています。	90	◎
9	郷土愛	保護者	お子さんは、地域の行事・取組等に積極的に参加・協力している。	50	▲
		児童	みたけ町や地域の行事や取組によく参加します。	54	▲
10	教育目標・学校づくり	保護者	学校は、教育目標や方針等の内容を明確にして、学校づくりを進めている。	78	-
		児童	「えがおいっぱい、元気いっぱい」をめざして生活しています。	88	○
保護者より					
<p>○修学旅行の計画を、6年生が考えて決めていったのは良い取り組みだと思いました。</p> <p>○例年とは違う、子どもたちの意見を取り入れての教育活動がとても良かったと思います。来年度もコロナがどうなるか分かりませんがどうか子どもたちの心に残る思い出になるようにお願いいたします。</p> <p>○今年度はコロナ禍の中いろいろと工夫をこらして対応していただき、ありがとうございました。運動会を子どもたち自身の案で運営、開催するというのはとてもよかったのではないかと思います。</p> <p>○修学旅行の行き先を子どもたちのプレゼンで決めるのは良い取組だと思いました。こういった力は今後必要になると思うので、これからもなんらかの形で続けられるといいと思います。</p> <p>○コロナ禍で、修学旅行等が中止になるだろうと思っていましたが、今までと違う方法を考えて中止にせず実現していただいたので、子どもたちの意見を取り入れることが良かったと思います。</p> <p>○今年はコロナで毎年できていた事ができませんでしたが、どうやったら思い出作りができるか、先生方が一生懸命考えてくださったこと、特に修学旅行のプランを子どもたちで考えさせた事はとてもいい経験になったと思います。</p> <p>○修学旅行は泊まりで行けなくて残念だったが、自分たちで考えたプランが現実になるという取組はとても良かった。</p> <p>○社会見学など、与えられた学習ではなく、考えて作っていき、自ら学べる社会見学など良ささうだと思いました。</p> <p>→「自分たちで計画した修学旅行」は、6年生の子どもたちにも大好評でした。自分たちの生活を自分たちで良くしていくことを、体験を通して学びました。</p>					
11	いじめ・差別	保護者	学校は、いじめや差別のない温かい学校づくりに取り組んでいる。	75	-
		児童	人をいじめたりせず、仲間と仲良く生活しています。	93	○
保護者より					
<p>○トラブルにも早く対処していただき、いつも、感謝しています。ありがとうございます。</p> <p>○クラスでトラブルがあった時、迅速に対応していただき、とてもありがたかったです。何かあったらいつでも話してくださいと言ってくださり、とても安心しました。高学年になると難しいとは思いますが、これからもよろしくお願ひします。</p> <p>○子ども同士のトラブルにしっかり向き合ってくださった担任の先生には感謝しています。お忙しいと思いますが、子ども同士のトラブルがあったときはしっかり解決していただきたいです。</p> <p>○いつもお世話になって、大変感謝しています。子どもの問題にも親身になって相談ののってください、とてもありがたく思いました。今後もよろしくお願ひします。また、感染予防策は続けていってほしいです。</p> <p>○子どものトラブルの時、児童クラブでのことでしたが、対応して下さり助かりました。ありがとうございました。</p>					
12	健康	保護者	学校は、歯みがき、食育など健康に関わる指導を推進している。	87	○
		児童	歯みがきや手洗い、うがいなどをして、健康に気をつけています。	96	○
保護者より					
<p>○手洗い、うがいの習慣がついたのが良かったと思います。</p> <p>▲コロナが収束して歯みがきの習慣がまた付くといいなと思います。</p> <p>◇歯みがきとフッ素を行ってほしいです。</p> <p>→歯科衛生士によるブラッシング指導、全国歯みがき大会への参加など、コロナ禍の中でも可能な歯みがき指導を積極的に行いました。しかし、現状は学校で一齐に給食後の歯みがきを行うことは難しいです。「今年度は歯肉炎の児童が増えました。」と学校歯科医の先生が心配されています。かかりつけの歯科医での定期検診やむし歯の治療、朝晩の歯みがきの見届け等、ご協力ください。</p> <p>◇検温表等感染予防は継続してほしいです。</p> <p>→今後も継続して行っていきます。</p>					
13	授業	保護者	学校は、分かりやすい授業をしている。	81	○
		児童	授業はよく分かります。	88	○
保護者より					
<p>○担任の先生が、勉強面で困難な子に合理的配慮をしてくださり、ありがたいです。今後も他の先生にも、お願ひしたいです。</p> <p>○このコロナ禍の中、先生方のおかげで授業を拝見する事が出来ました。英語の授業でしたが、先生が楽しそうに授業をされていたので、子どもたちも積極的に取り組んでいるようでした。</p> <p>○個別でいろいろ対応していただき、ありがたいです。</p> <p>▲子どもは算数が苦手ですが、教科書を見ても「考えてみよう」と書いてはありますがその答えがなかったり、本当に見たいときに振り返って見られる作りになっているか、ちょっと疑問です。</p> <p>▲算数の授業が、3年生ではレベルごとに分けて5クラスにしてくれていたが、今年度はクラス単位のままなので授業の進みがまいちのように感じる。</p> <p>▲休校が長かったので仕方のないことですが、やや授業をいっぱい聞いてくる雰囲気がありました。ようやく秋になって落ち着いてきた気がします。</p> <p>▲コロナで学校がしばらく休みになり授業が追いついていないのか心配だったのですが、今年から帰宅時間も早くなり、ますます授業の進みは早くないかと、ちゃんとついていけているのかと、心配なところはあります。</p> <p>○オンライン授業を推進してほしいです(子どもが興味をもちやすいため)。</p> <p>→児童用タブレットやWi-Fiの整備など、授業でICTが活用できるような準備が整いつつあります。</p> <p>◇算数の授業を参観させていただきました。今年はコース別の授業ができないということでしたが、クラスでの理解度の差があって、教えるのが大変なのではと思います。理解できていない子に対する教え方も、私ที่บ้านで子どもに教えるときのように、感情的とか言い方がきついに感じます。何となく授業も楽しいという空気ではないようです。これからますます算数は難しくなっていくと思いますので、今までのようにコース別での授業を希望します。</p> <p>→子どもたちの学び方と職員の構成から、最も適している授業形態を考えていきます。</p>					

